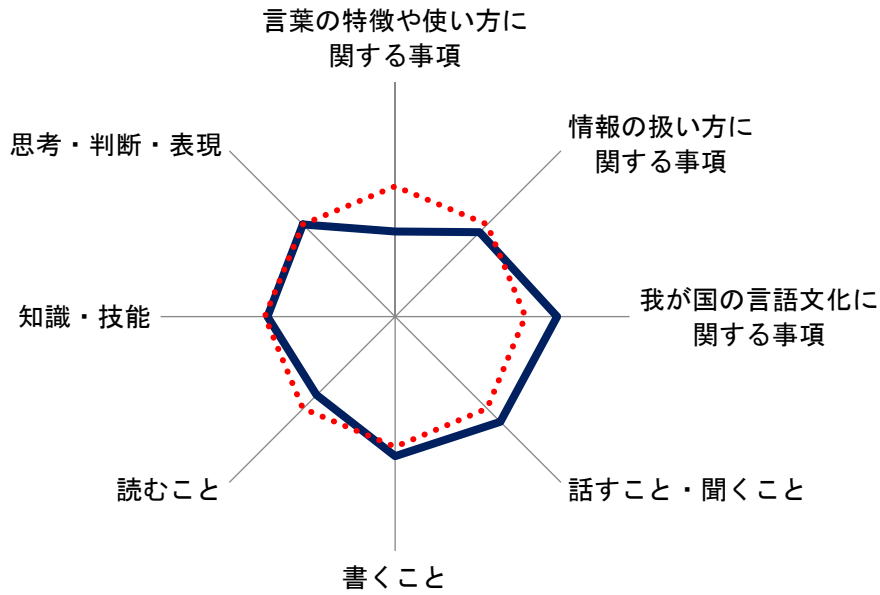


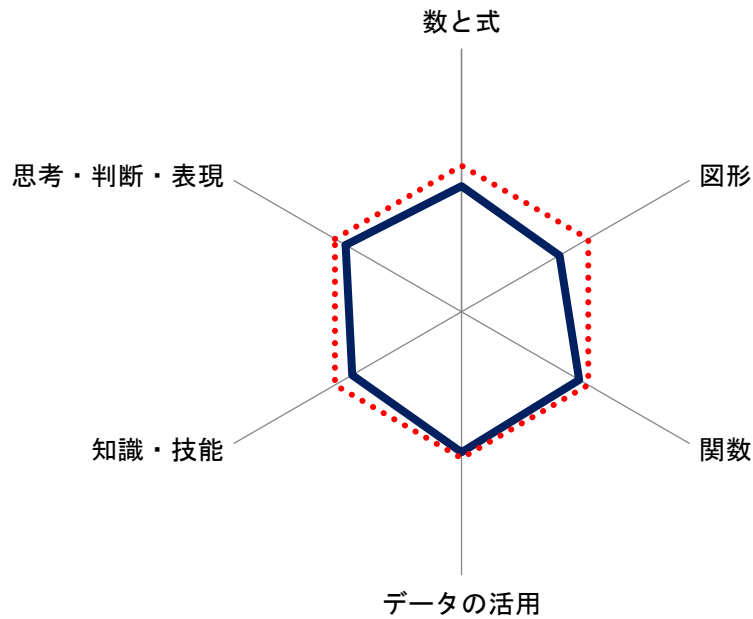
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 町平均
..... 全国平均



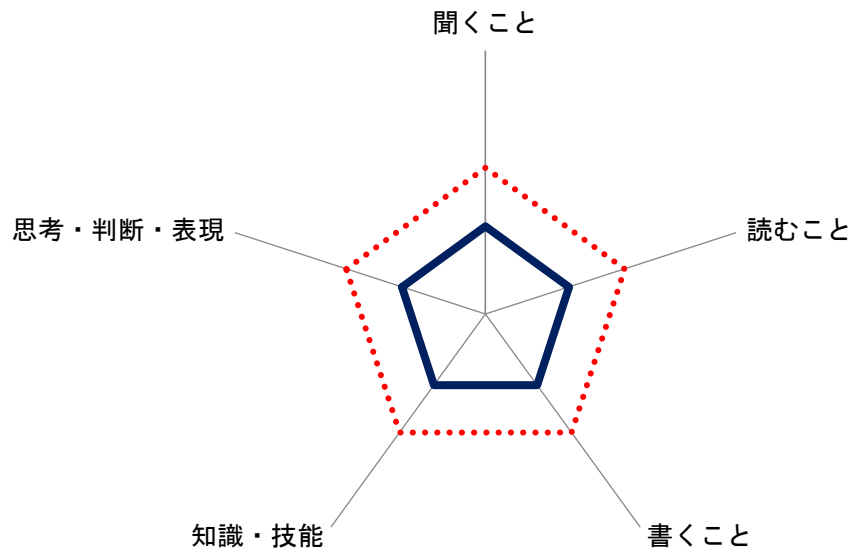
【数学】



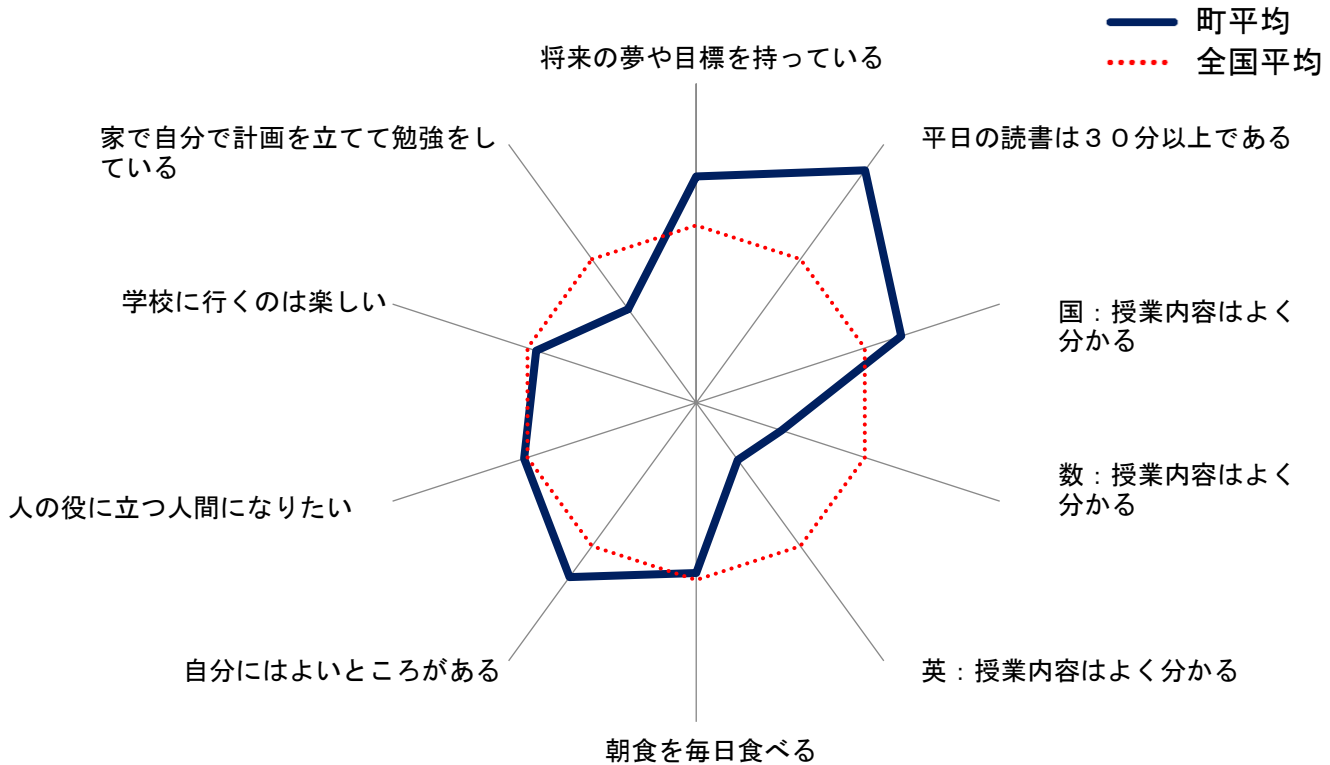
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【英語】

— 町平均
..... 全国平均



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」の項目が全国平均を大きく上回っており良好である。一方、数学と英語の全ての項目が全国平均を下回っている。特に、英語は全国平均との差が大きく、英語によるコミュニケーションを図る資質・能力に課題が見られる。今後は、設問ごとに詳細な分析を行い、成果と課題を明確にするとともに、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かし、より質の高い授業改善に取り組むことで、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成や英語力の向上が望まれる。

生徒質問紙調査では、「平日の読書は30分以上である」の項目が全国平均を大きく上回っており、読書に親しむ習慣づくりに努めてきた成果がうかがえる。一方、数学、英語の「授業内容はよく分かる」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の項目が全国平均を大きく下回っている。今後は、全国平均を下回った要因を詳細に分析し、生徒にとって「分かる、できる」を実感できる授業となるよう授業改善を推進するとともに、主体的に学習に取り組む態度を高める教育活動のより一層の充実が望まれる。